

# 鶴見高等学校図書館 運営方針

本校図書館は生徒の「読みたい」「知りたい」(?)に、資料・情報を提供することで応え、「わかった」「読めた」(!)喜びに変え、読む・学ぶ意欲を高めるように努めます。

そうした図書館体験を生徒が繰り返し積み重ねることで、将来にむけて自ら学び考え、意欲的に行動する力を育くみます。

具体的には以下のような取り組みを図書館は行います。

## ・魅力的な蔵書構築をし、利用者の必要とする資料を提供します

学校教育や高校生活に役立つ資料・知的好奇心を喚起する資料や・生徒の興味・関心ある資料を、幅広い視点から収集し、利用者にとって魅力的な蔵書を構築します。また生徒のリクエストに、購入や他館から借りるなどして応え、必要な資料を草の根分けでも提供するよう努めます。

## ・豊かな授業づくりの支援をするよう努めます。

授業関連の資料・情報をブックリストの作成や、ブックトークをすることで紹介し、学習の興味を広げます。

図書館を利用した「調べ学習」では、授業に必要な資料・情報を幅広い視点からそろえ、生徒一人ひとりの調べ物やレポート作成のプロセスで、疑問や課題に資料・情報を提供することで応え、学習の支援をします。

以上のような取り組みを通して「学び」をより豊かにします。

## ・読書体験を豊かにします

生徒の興味関心に応じた資料や読み継がれてきた資料などを幅広く紹介するよう努めます。

授業や文化祭などで、本の紹介や読み聞かせ、ブックトークなどを行い、生徒だけでなく、地域全体の読書に対する興味を引き出し、楽しさを伝え、読書の世界を広げ・深めます。

また生徒の読書についてプライバシーを守り、安心して学校図書館を利用できるようにします。

## ・図書館利用教育をします

図書館の活用の仕方や調べ方のガイダンスをおこない、必要な資料・情報へたどりつく術を伝えます。また一人ひとりの「知りたい」に資料・情報を提供することで応えます。(レファレンスサービス)

以上のような取り組みをとって自ら学び考える支援をします。

## ・生徒の「心のオアシス」「広場」になるよう努めます。

入りやすく、利用しやすい環境を整えるだけでなく、生徒がホッと一息つけるような居心地のよい場所になるようにします。そして一人ひとりを見守り、それぞれが抱える課題に参考となる資料・情報を提供します。

また生徒どうし、クラスや学年をこえて交流し、自己表現できる発信の広場ともなるよう努めます。

以上の活動を含めて、利用しやすい図書館づくりを心掛け、貸出冊数やリクエスト、レファレンス数などのデータを毎日とり、その数値が向上するように努めます。そして検証して定期的に活動報告をします。